

令和6年度 愛媛県がん診療連携協議会 第1回がん看護専門部会 議事録

開催日時 令和6年5月28日(火)14:00~15:00 WEB会議

開催場所 四国がんセンターから発信

司会進行 がん看護専門部会長 四国がんセンター看護部長 大西 玉美

出席者 出席者一覧参照

開会の挨拶 (大西部会長)

・本部会の副部会長を東予地区、南予地区の拠点病院から1名ずつ選出している。南予地区は昨年度に引き続き市立宇和島病院の伊藤看護部長に、東予地区は今年度から、済生会今治病院の宮嶋看護部長にお願いしている。

出席者紹介

・出席者一覧に沿って自己紹介

今回から【愛媛県立中央病院】青野看護部長、【松山赤十字病院】長谷部看護部長が新たに参加。事務局(四国がんセンター看護部)において、副看護部長が岡に交代。

議事内容

1) 幹事会及び役員会・専門部会報告(大西部会長)

①愛媛県がん診療連携協議会組織図(資料1)

- ・今年度より小児・AYA専門部会が新設された。第4期がん対策推進基本計画、愛媛県がん対策推進計画にも盛り込まれており、小児・AYA世代のがん対策の重要性が高まっている。
- ・歯科においても地域の中で連携が必要であることから、がんの集学的治療専門部会の中に医科歯科連携ワーキングが設立された。

②2024年度 がん診療連携協議会年間スケジュール(資料2)

がん看護専門部会は研修を運営していくうえで、定例会として5月と1月に実施している。今年度から、全体として7月(今年度は7月27日)に専門部会は集合で行うことに決定している。当会においては年2回の開催としているが、7月の専門部会で集合し参加可能な方は引き続き専門部会報告会、講演会の聴講ができるためがん看護専門部会を実施するかどうか検討したい。遠方の参加病院もあり参加に関する意見はあるか。

(市立宇和島病院) 一度集合してもよいと思うし、距離のことを考えるとWeb会議でもと思う。

→ 一度、集合で開催する形をとり、対面の機会なので意見交換等できればよいと考えている。議案があれば応募をお願いしたい。

2) 令和5年度がん看護専門部会研修報告（四国がんセンター 宮脇）

（第2回専門部会報告（2024年1月）から大きな変更点なし）

- ・企画委員会として、委員15名で研修の企画案の審議と実施の評価を行い、年2回開催した。
- ・研修は8月17日～2月27日の期間において開催し、10月26日のみ集合で実施した。ファシリテーターも演習や発表会、フォローアップ研修に可能な限り参加した。
- ・申し込みは9名であったが、1名が感染症等で修了できなかった。未修了者について、今年度以降に再度の応募がある場合には受講費等を免除して実施する。
- ・受講費の変更はなし。

○研修実施前と後半での受講生自己評価について

すべての項目において、少しずつ自信がついてきた状況や、受講者ひとり一人の実践能力が上がって

いること、視点も広がっていることなど後半の研修で感じる事ができたと企画委員会として評価している。

3) 令和6年度がん看護専門部会研修企画報告

○昨年度、講義修了後から実習開始までに1カ月の期間があったため、少し講義内容を忘れた状態で実習に入るケースがあった。この点を踏まえ、実習開始までの期間を短縮していきたい。

○実習は10月後半から11月前半にかけて実施し、事例発表を12月に開催した。事例発表では四国がんセンターでの実習における看護の展開に加え、事例発表までの1カ月の期間で、自身の施設で取り組まれた内容について発表した。1月のフォローアップ研修ではテーマとして「自施設での取り組み」について発表したが、12月の発表内容との重なりが大きかった。そのうえ、1月の発表内容は想定以上に取り組まれていた。そのため、12月の事例発表の時期を前倒しして事例をしっかりと振り返り、1月のフォローアップ研修では自施設等での取り組みを共有していく方向で、更にブラッシュアップしていくことを修正案とした。これに伴い、研修全体の日程を早める。

○企画委員からも受講者からも、集合機会を増やしてほしいとの希望はあるが、集合機会を増やし過ぎると負担が増加することも考慮し、1回から3回に増やすこととした。

以上のような点を修正し今年度の企画を作成した。

*令和6年度がん看護実践能力向上研修概要（資料4-1）

*がん看護実践能力向上研修会要綱（資料4-2）※4-1詳細

- ・講義、ワークはWEB配信としているが、開講式（事例課題発表会）、中間評価会（実習中）、閉校式（事例発表会）の3回は集合で開催する。
- ・それぞれ9時開始、遠方から来られる方の負担も考え終了時刻も早めることで調整している。
- ・講義日程は9月第2週、第3週とし、実習の時期を早めて10月前半に開始する。

- ・自施設での実習もしくは四国がんセンターでの実習を選択する。(昨年度からの変更なし) 四国がんセンターでの実習を選択の場合でも、自身の施設を知る意味で自施設の組織横断的な部門での実習を1日以上必要とする。四国がんセンターでの実習は実施期間の指定あり。
- ・事例発表会(昨年度は12月に実施) 3週間程早めて11月に予定。
- ・フォローアップ研修(WEB開催) 1回目は実習終了後から約1か月半経過後、2回目は1月。(修了の条件には含めていないが、受講者は原則出席のこと)
- ・8月24日と25日はELNEC-Jのプログラムを使用した講義となる。これまでにELNEC-Jを受講済みの場合、申請があれば受講を免除可能としている。(昨年度からの変更なし)
- ・対象 原則2年以上看護師として勤務し、うち1年以上はがん看護実践経験がある者(3年目以上)とする。
- ・募集人数 16名を予定しているが、多くの応募があった場合には、検討する。

○提出物の多い研修ではあるが、事例レポート、3か月フォローアップ研修の資料提出、研修後のレポートなどの受講者自身で行う必要があるもの以外は、実習にかかわるものはできるだけ実習中にフォローを受けながらレポートの作成ができるよう配慮している。

○本日の専門部会にて報告後、変更点を検討した後に6月吉日に各施設へ実習の要項等を配布、申込期限は7月30日としている。

○企画委員、ファシリテーターには依頼文章を一旦発行するが、全研修への参加は難しいと思われるため、研修日程の内、欠席の場合の連絡をいただき、出来る範囲でのご協力をお願いしたい。

(愛媛大学)

いろいろと検討していただいて、さらに研修会をよくしていこうというところがよくわかった。ぜひ皆さんの検討を今年度に生かせたらよい。

(済生会松山病院)

院内で、研修への参加を検討したい。

→ 企画委員の方も含めて、毎年よりよくしていこうというところで取り組んでいるので、今後ともお願いしたい。

4) 第3回全国がんセンター協議会加盟施設等看護部(局)長連絡会における情報共有(大西部会長)

* 専門・認定看護師育成について

- ・当院でも専門・認定看護師の育成に苦慮している。採用時には緩和等の認定になりたいと言う者は多いが、3~4年経過すると実際の業務に追われ、またライフステージの変化にもなって、次のスペシャリストに結び付かない。認定の研修に行く前の動機付けや、研修中、研修終了後の環境づくりも含めた支援が必要だという点が、振り返りとなった。
- ・発表施設での取り組みについて、活動アピール・ポスター提示等を行って、スタッフに対して発信している点に興味を持ったため共有する。

*令和6年度診療報酬改定について（資料5）

看護にも直結しているため、共有する。

- ・当院は救急をおこなっていないこともあり、当院の集中治療室においては、術後管理が中心のため特定集中治療室管理料については見直しとなる。6月1日からは医師の働き方改革に伴い当直に関係するところが変わってくるが、看護に直結している点では、集中治療を必要とする患者の看護の経験が5年以上かつ適切な研修を修了した専任の常勤看護師という要件に対して、令和8年度までに育成できない可能性が高く厳しい現状になっている。
 - ・栄養管理体制基準の明確化は6月1日から看護に直面している。“標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価”で入院時の体重測定の徹底、必要時の下腿の測定等の課題に取り組んでいる。
 - ・施設基準必要度について、がん薬物等の見直しに対応している。
 - ・人生の最終段階における適切な意思決定支援の推進については取り組んでいるが、引き続き整備が必要。
 - ・来年5月までの、身体的拘束を最小化する取り組みの強化については、これからの取り組みとなる。
- その他、ハイケアユニット用の重症度、医療・看護必要度の見直し、外来腫瘍化学療法診療科、がん性疼痛緩和指導管理料など、診療報酬改定においては様々な点が更新された。

5) がん看護専門部会について

- ・2025年1月28日（火） 定例会（WEB）
- ・2024年7月27日（土） 幹事会・専門部会・報告会（集合）※がん看護専門部会も参加する。

6) その他、検討事項（大西部会長）

①大阪府がん診療連携協議会の看護部会が共催しているセミナー（6月26日開催）で、愛媛県がん看護専門部会の取り組みについて30分ほど講演して欲しいと依頼があり、発表することで準備をすすめている。

「がん看護専門部会（愛媛県）における取り組みと課題」

*がん看護専門部会の発足について

平成19年にがん対策基本法が施行され、がん医療の質の向上及び均てん化のための医療従事者育成の必要性が示された。愛媛県でも看護領域において実施することで、四国がんセンターへの事業委託として“愛媛県がん看護実践に強い看護師育成研修会”を平成19年度～28年度にかけて実施した。毎年10～12人からの参加があり25病院から116人が修了。公開講座、トピックス研修も実施した。

事業終了後の平成28年度、県内の拠点病院、推進病院との協力が得られることや、東・中・南予の研修機会を増やして地域の医療機関の看護師が参加できる教育環境を整えていくことが必要であることなどのことから、愛媛県がん診療連携協議会の専門部会として発足した。

目 的) 愛媛県内におけるがん看護に関わる看護師の資質向上と、がん看護実践レベルの均てん化をはかる

活動方針) 1 愛媛県内外の関連部門と積極的に情報共有を図る 2 情報交換・研修・研修支援体制等、質の向上のための交流会・研修会等を行う 3 各施設の状況把握、課題・改善に向けての研修を支援する

活動内容) 平成 28 年度から年 2 回の専門部会を実施、令和 4 年度からは WEB 会議としている。がん看護実践能力向上研修会、トピックス研修、スポット研修の運営を継続している

*がん看護専門部会の現在の取り組みについて

- ・がん看護分野におけるがん看護実践に必要な知識・技術を有し、患者・家族の個別性を踏まえた実践が行える看護師の育成を行い、がん罹患患者への看護ケアの充実を図ることを事業目的とし、各施設から委員を選出いただきながら研修企画を運営している。企画委員の方等、選出されている方々が、実践して、評価し、PDCA サイクルを回しながら実施している。当院からがん看護実践能力向上研修の受講者がいないことについては課題。
- ・昨年度、多職種に対して PDCA アンケート調査を実施した。

“がん看護専門部会の活動で、自施設のがん看護の質の向上、認定看護師・専門看護師等を目指す人たちの支援に活かされているか”

「活かされている」39.8% 「どちらともいえない」58.2%

○研修会修了者・受講者の能力・意欲向上につながっている

○研修を終えた方々は研修前と比較しかなり能力・意欲が向上している為、大きな成果だと思う

○施設によっては院内の学習会開催に活かされている

○企画委員として活動している方においてもキャリアアップ等に繋がっている

*活動は活発だが、後は受ける側（各施設）の課題がある為、働きかけも必要

「活かされていない」

*当院での参加状況を把握していない

*院内で活かされているか不明

*認定・専門看護師の育成に繋がっていない

アンケートを通じて、一定の評価を得ており必要とされていることは確かである。さらに認定看護師を育成して欲しい、院内で更に活動して欲しいと期待値が高く、課題もあると考える。研修のあり方について社会の状況等に合わせて変化している中、各施設で看護師不足については大きな課題を抱えている。また受講生の減少、スペシャリストの育成、企画担当者の負担が主な課題となっている。部長長職としての役割については転勤制度があることに伴う継続の難しさなどもある。

→ 発表するにあたり不足しているところや思いなど、こういったことは是非伝えて欲しいというようなことがあれば、部会内でもメールでも教えていただきたい。

②愛媛県がん看護専門認定看護師プログラムについて

令和 7 年度に開校するにあたり、今年度 6 月 15 日に入試説明会が愛媛大学で開催される。ぜひ各施設で声をかけていただきたい。

(愛媛大学)

少し職場を離れる形になってしまう点が課題ではあるが、認定と専門の看護師育成にあたり、ありがたい。

→ 受験資格は、大学卒業の必要はなく、臨床経験年数等で入試資格を満たしていれば、最終学歴が短期大学、看護専修学校でも構わないところが魅力であると思う。興味を持つ方は是非参加いただきたい。

○ (質問) 参加したい場合に、身分や支援が決まっている施設があれば教えていただきたい。

(四国がんセンター) 当院はがんに特化しているため、研究生のような身分としている。また資格を取得した場合にはその費用についても負担するようにしている。受講希望者がいない厳しい現状である。

(愛媛大学) 2年間は業務を離れるため、身分としては休職としている。ただ認定看護師では期間は半年から1年とはなるが研修として給与を支給しており、専門看護師では休職となるところは交渉の余地があるかと考えている。金銭面でも、認定では旅費も含め研修費として50万程度としており専門と認定の差があまりにも大きい。しかしながら、当院でも受講者が現れないところで苦慮している。

→ 全体を通して質問

(愛媛大学) 来年度の研修会にて集合教育を増やしていくのか意見にあったが、今年度、フォローアップ研修等はWeb開催のままであることについて、実行委員会はどのように感じているか、意見があれば教えていただきたい。

(四国がんセンター宮脇) 今年度については、昨年度企画委員の中で集合を1回から3回に増やせるか検討をおこなった。スタートの事前課題発表会では、お互いの受講者の事を深く知ったうえで話し合えることから集合がよいということになった。11月に予定している事例発表会か、1~2回おこなうフォローアップ研修のうちどれか1つを集合にしたいという意見もあったが、フォローアップ研修より事例発表会でしっかりと話し合えた方が、今後どのように学びを活かしていくかを考えていけるということから、今回は事例発表会を集合形式で開催する予定とした。しかしながら、どちらがよいかというところについては、フォローアップ研修の2回目ではOB・OGの方にもご参加をいただいております、自分の何年か後のビジョンも見えてくるため、今後の運営の在り方は検討すべきと考えている。

(愛媛大学) 以前はすべて集合であったため、集合が増えていくことはよいと思う。出来るだけ研修生が実のある研修となるように、集合を増やしていく方向で検討していきたい。

<質問・意見特になし>

7月27日は都合が良ければ集合いただき、日頃における疑問等々を意見交換していきたい。

令和6年度 第2回がん看護専門部会 次回開催日程
2024年7月27日(土)